

L型 亀有マスター 75 B カムシャフト

L型77度の最高峰iカムプロフィールの急激な立ち上がりスピードをそのままに、作用角と閉じ側に変更を加えて瞬発力を向上。カムリフト10mmだからこそ成し得る大量の吸入空気を、逃がすことなく一気に遮断する亀有独自のスーパープロフィール採用。中速域で最大限の充填効率を発揮し、最高レベルの瞬発力でシフトアップを優位にします。

「カムシャフトセッティング要領」

①バルブスプリングの選択

- カムシャフトはスプリングとのマッチングが重要です。荷重屋のハイリフトの特性上マッチングの良いkameari 10000rpm対応バルブスプリングをご使用ください。

②バルブリセスのチェック

- ヘッドガスケット及びシリンダーヘッド装着時のバルブ全閉位置から、ピストン上死点時のリセス面までの距離を測定してください。
IN:7.5mm EX:7.5mm 以上の間隔が保たれていればOKです。間隔不足の場合は、バルブリセスの追加工やヘッドガスケットの厚み変更などの対策が必要です。

③ロッカーガイドの選択

- バルブリフトのレバー比調整はロッカーガイド厚の選択で調整します。手持ちのロッカーガイドでバルブリフトを測定してください。下記の基準値よりリフトが少ない場合はロッカーガイドを薄く、オーバーしている場合は厚くしてください。

④バルブタイミングの調整

	カムリフト	バルブクリアランス	レバー比	バルブリフト	開(1mmリフト)	閉(1mmリフト)	中心角	ベースサークル
IN	10mm	0,28	1,465:1	14,5~14,8mm	上死点前 27° ~ 下死点后 50°		101.5°	φ 27.75
EX	10mm	0,28	1,465:1	14,5~14,8mm	下死点前 53° ~ 上死点后 24°		104.5°	φ 27.75

注記)新品のタイミングチェーンをご使用の場合は、タイミングを予め2度早めてください。
タイミングチェーンが馴染んでくるとタイミングが2度遅れます。

- カムを組み付けしたらロッカーアームを1番シリンダーのみに取り付けしバルブクリアランスを0,28mmに調整して下さい。その後エンジンをゆっくり手で回してピストンとバルブの干渉がないか確認して下さい。
- 干渉がない事が確認できたら、上記の値を狙ってバルタイを行ってください。だいたい近いところまでバルブタイミングが終わったら残りのロッカーアームを取り付けて最終的なバルタイ微調整を行ってください。
- 分度器を読む時はタイミングチェーンが回転方向にテンションがかかっている状態にしてください。テンションを緩めると2-3度戻ります。

⑤バルブクリアランス調整

- クリアランス調整時は、カム山を一ヶ所づつ上に向けてから調整を行ってください。
- エンジンが完全に冷えている時に下記の冷間時の値にクリアランスを調整し、エンジン始動後に適温までエンジンが暖まってから温間時の値になっていることを確認して下さい。

冷間 0,18 ~ 0,21mm 温間 0,25 ~ 0,28mm (IN,EX同じ)

ご注意

- 本品は、他社製のバルブスプリングとの組み合わせで使用されますと、本来の性能が出ない事が有ります。
- 本品は、レース専用部品のため、一般公道での使用はできません。又、本品に関する事故やトラブル等のクレームには一切お受けできませんので、予めご了承ください。
- 亀有マスタープロフィールは、当社独自のコンセプトによって開発されたものです。無断でコピーや販売などを行うと法律違反に問われますのでご注意ください。



埼玉県八潮市緑町 3-1-16
株式会社 亀有エンジンワークス
TEL 0489-98-2323 FAX 0489-97-9085